



日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1998年 5月28日

出願番号
Application Number:

平成10年特許願第146938号

出願人
Applicant(s):

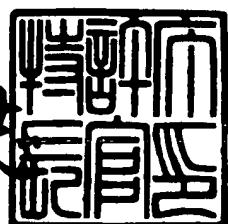
シャープ株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1999年 3月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

伴佐山建志



【書類名】 特許願

【整理番号】 98-01029

【提出日】 平成10年 5月28日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 01/24

G06F 12/00

H04Q 07/24

【発明の名称】 電話機能を有する携帯型電子機器

【請求項の数】 4

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社内

【氏名】 松田 揚三

【特許出願人】

【識別番号】 000005049

【氏名又は名称】 シャープ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100085501

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐野 静夫

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 024969

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9003086

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電話機能を有する携帯型電子機器

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ソフトウェアを搭載した電話機能を有する携帯電子機器に於いて、多種類の地域情報や言語に対応したソフトウェアの複数の初期データを記憶する第1記憶部と、前記携帯型電子機器が使用される地域の地域情報や言語を入力する入力手段と、その入力された地域情報や言語を記憶する第2記憶部とを備え、第1記憶部の初期データの中から第2記憶部内の地域情報や言語に応じた初期データを選択して前記ソフトウェアの初期化を行うことを特徴とする電話機能を有する携帯型電子機器。

【請求項2】 前記選択された初期データをユーザーが編集できる編集手段と、その編集した内容を第2記憶部内に記憶させる手段とを備えたことを特徴とする請求項1に記載の電話機能を有する携帯型電子機器。

【請求項3】 前記ユーザーによって編集された初期データを消去するための入力キーを備えたことを特徴とする請求項2に記載の電話機能を有する携帯型電子機器。

【請求項4】 編集された初期データを消去する前記入力キーが押されると、前記ユーザーによって編集された初期データを消去するとともに最初に設定された地域情報や言語に応じたソフトウェアの初期データにより前記電話機能を有する携帯型電子機器のソフトウェアの初期化を行うことを特徴とする請求項3に記載の電話機能を有する携帯型電子機器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電話機能を有する携帯型電子機器に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来より電話機能を有する携帯型電子機器に於いて、電子メールなどの通信サービスに対応した機能などが提供されている。

【0003】

また、このような電話機能を有する携帯型電子機器の機能の1つである電子メールは、プロバイダーへの電話番号や文章の雛形などの設定が必要であるが、予めそれらの一般的な設定が生産時に行われており、ユーザーがサービスの利用時に任意の設定に変更できるようになっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述の電子メールの設定は国や地域によって一般的な設定が異なることが多い、電子メールの文章の雛形も国や地域によって使われる言語が違う。このような国や地域による違いに対応するため、従来は各国や各地域に対応した機器を別々に製造しなければならなかった。尚、ここでいう言語とは、全て国や地域で会話に使用される言語のことである。

【0005】

特開平9-172658号公報では、多種類の言語に対応した表示データのデータベースを持つことにより、单一の端末で多種類の言語表示が可能であるが、多種類の言語に対応しているのは表示データのみで、ソフトウェアの初期データには対応していない。

【0006】

特開平5-219280号公報では、初期設定情報を決定するための国や地域情報の設定をユーザーに行わせる代わりに、交流電源電圧もしくは交流電源電圧回路の識別により国や地域情報の設定を自動的に行っているが、この方法では電池で動作するなどの商用交流電源を用いない機器では実施できず、また前記方法で識別できない地域の判別ができない。

【0007】

本発明は、商用交流電源から判断される地域よりも多くの種類の地域を判別し、且つ表示データ以外のソフトウェアの初期データにも対応することを目的とする。

【0008】

また、このような初期化を通してユーザーによって編集されたシステムが、前

記携帯型電子機器の電源を切った後も消去されないようにすることを目的とする

【0009】

【課題を解決するための手段】

請求項1に記載のソフトウェアを搭載した電話機能を有する携帯型電子機器は、多種類の地域情報や言語に対応したソフトウェアの複数の初期データを記憶する第1記憶部と、前記携帯型電子機器が使用される地域の地域情報や言語を入力する入力手段と、その入力された地域情報や言語を記憶する第2記憶部とを備え、第1記憶部の初期データの中から第2記憶部内の地域情報や言語に応じた初期データを選択して前記ソフトウェアを初期化することを特徴とする。

【0010】

このような構成によると、例えば前記携帯型電子機器の工場出荷時にその携帯型電子機器の仕向地を示す地域情報や言語を入力手段を介して入力してやると、その地域情報や言語が第2記憶部に格納される。そして、その入力した地域情報や言語に対応したソフトウェアの初期データが第1記憶部から読み出され、この初期データにおいて所定のソフトウェアの初期化がなされる。

【0011】

請求項2に記載のソフトウェアを搭載した電話機能を有する携帯型電子機器は、前記選択された初期データをユーザーが編集できる編集手段と、その編集した内容を第2記憶部内に記憶させる手段とを備えたことを特徴とする。

【0012】

このような構成によると、例えばユーザーが工場出荷時に前記のように初期化された携帯型電子機器を使用する際に、すでに設定された初期条件を変更したいときに前記初期データをユーザーが編集することが可能となり、また、編集した内容が第2記憶部に記憶されるので、この第2記憶部が例えばフラッシュROMのような不揮発性のメモリであれば、その内容は保持され電源をきっても消去されることがない。

【0013】

請求項3に記載のソフトウェアを搭載した電話機能を有する携帯型電子機器は

、前記ユーザーによって編集された初期データを消去するための入力キーを備えたことを特徴とする。

【0014】

このような構成によると、前記編集された初期データを消去するための入力キーを押すという簡単な操作で、前記ユーザーによって編集された初期データを消去することができる。

【0015】

請求項4に記載のソフトウェアを搭載した電話機能を有する携帯型電子機器は、前記編集された初期データを消去する前記入力キーが押されると、前記ユーザーによって編集された初期データを消去するとともに最初に設定された地域情報や言語に応じたソフトウェアの初期データにより前記電話機能を有する携帯型電子機器のソフトウェアの初期化を行うことを特徴とする。

【0016】

このような構成によると、前記編集された初期データを消去するための入力キーを押すという簡単な操作で、前記ユーザーによって編集された初期データを消去するとともに工場出荷時に設定された初期データによって所定のソフトウェアの初期化がなされる。

【0017】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明の第1の実施の形態を図1、2及び3に基づいて説明する。図1は本発明の実施の形態に於いて使用される電話機能を有する携帯型電子機器の外観図である。図1に於いて、前記携帯型電子機器は、多目的型PUSHスイッチ1a、発呼キー1b、電源スイッチ1c、リセットキー1dなどのユーザーが操作を行うためのキー1と、表示装置としてのLCDを含んだペン入力によるユーザーインターフェースを提供する座標入力装置2と、赤外線通信装置3と、受話装置であるスピーカー4と、送話装置であるマイク5と、A方向に伸縮可能なアンテナ6と、本体の底部に付属されたヒンジによってB方向に回動し座標入力装置2を保護するような役目を持つ蓋部7とによって構成される。

【0018】

図2は図1の前記携帯型電子機器の構成を示すブロック構成図である。システム全体の制御やユーザーに各種サービスを提供するためのCPU8と、情報を一時的に記憶するためのRAM9と、プログラムや各種データを記憶しているROM10と、対応する地域の言語や地域情報等の様々な情報を記憶しておくためのフラッシュROM11と、ペン入力によるユーザーインターフェースを提供する座標入力制御部12と、それに入力を行うペンなどの座標入力装置13と、図1の1a～1dを含むユーザー操作を行うためのキー14と、表示部としてのLCD16と、それを制御する表示制御部15と、電話としての機能を備えている電話機能装置18と、それを制御するための電話機能制御装置17とで構成されている。

【0019】

前記携帯型電子機器に於いて、アメリカの各州／イギリス／フランス／ドイツ／イタリア等の各地域に対応する各種初期データをROM10に予め記憶し、前記地域の内よりその携帯型電子機器が使用される地域の言語や地域情報を赤外線通信装置20及び赤外線通信制御装置19を用いて受信し、前記フラッシュROM11に記憶させる。

【0020】

前記携帯型電子機器に於いてリセットキー1dが押されたときシステム全体の初期化処理が行われる。図3は前記処理のうちで設定された地域情報や言語に応じてソフトウェアのデータを初期化する処理のフローチャートである。

【0021】

まず、ステップS3-1で、前記フラッシュROM11上に記憶された地域情報や言語を読み出す。ステップS3-2で、ROM10上に存在する複数の言語や地域情報のための複数の初期データを持ったデータベース内にある、ステップS3-1で読み出した言語や地域情報に対応した初期データのインデックスを取得する。ステップS3-1で、ステップS3-2で取得した前記インデックスで指定される初期データを用いてソフトウェアを初期化する。

【0022】

以下に、本発明の第2の実施の形態を図1、2及び4に基づいて説明する。使用された電話機能を有する携帯型電子機器の外観は、図1で示す第1の実施の形態のものと同じである。

【0023】

図2は図1の電話機能を有する携帯型電子機器の構成を示すブロック構成図である。システム全体の制御やユーザーに各種サービスを提供するためのCPU8と、情報を一時的に記憶するためのRAM9と、プログラムや各種データを記憶しているROM10と、対応する地域の言語や地域情報そして初期データ編集済フラグの状態等の様々な情報を記憶しておくためのフラッシュROM11と、ペン入力によるユーザーインターフェースを提供する座標入力制御部12と、ペンなどのそれに入力を行う座標入力装置13と、1a～1dを含むユーザー操作を行うためのキー14と、表示部としてのLCD16と、それを制御する表示制御部15と、電話としての機能を備えている電話機能装置18と、それを制御するための電話機能制御装置17とで構成されている。

【0024】

第1の実施の形態で説明した動作を行う前記携帯型電子機器に於いて、ユーザーが初期データを編集できるエディタ機能を提供し、編集内容は前記フラッシュROM11に記憶しておく。編集内容が記憶されたときに、前記フラッシュROM11上の初期データ編集済フラグをチェックした状態に記憶しておく。初期データが未編集の場合は前記フラッシュROM11上のフラグはクリアされた状態で記憶されている。

【0025】

前記携帯型電子機器に於いてリセットキー1dが押されたときシステム全体の初期化処理が行われるが、図4はそのうちユーザーが編集した初期データで初期化する処理のフローチャートである。

【0026】

まず、ステップS4-1で初期データがユーザーによって編集済かどうかを前記フラッシュROM上11上の初期データ編集済フラグから判定する。編集済の

場合は、ステップS4-2で、初期データとして前記フラッシュROM11に記憶されているユーザーによって編集された初期データを用いてソフトウェアを初期化する。未編集の場合は、ステップS4-3、S4-4及びS4-5で、第1の実施の形態と同じ方法を用いてソフトウェアのデータを初期化する。

【0027】

第2の実施の形態の例として、フランス国内に居住している英語を母国語とするイギリス人が前記携帯型電子機器を使用する場合、フランス国内で使用できるように初期化されたシステムに加えて、そのシステム内で使用する言語を仏語ではなく、英語で表現されるようにユーザーが設定するといった実施例が挙げられる。

【0028】

以下に、本発明の第3の実施の形態を図1、2及び5に基づいて説明する。使用された電話機能を有する携帯型電子機器の外観及びそのブロック構成図は、図1、2で示す第2の実施の形態のものと同じである。尚、キー14にはユーザーが編集した初期データを消去する図1内の消去キー1eも含まれる。

【0029】

第2の実施の携帯で説明した動作を行う前記携帯型電子機器に於いて、前記消去キー1eを押すことによって、フラッシュROM11上に記憶している前記初期データを消去することができる。図5はその処理のフローチャートである。

【0030】

まず、前記消去キー1eを押すことにより、ステップS5-1で、フラッシュROM11上の初期データ編集済フラグがクリアにされた状態に記憶される。初期データ編集済フラグがクリアにされた状態の時、初期データが未編集である。ステップS5-2で、フラッシュROM11に記憶されているユーザーによって編集された初期データを消去する。

【0031】

以下に、本発明の第4の実施の形態を図1、2、4及び5に基づいて説明する。使用された電話機能を有する携帯型電子機器の外観図及びそのブロック構成図は、図1、2で示す第3の実施の形態のものと同じである。

【0032】

第3の実施の携帯で説明した動作を行う前記携帯型電子機器に於いて、ユーザーが編集した初期データを消去する消去キー1eを押すことによって、図5のフローチャートの処理の手順でフラッシュROM11に記憶されているユーザーによって編集された初期データを消去するとともに、システム全体が図4のフローチャートの処理の手順でユーザーが編集する以前の初期データで初期化される。

【0033】

【発明の効果】

本発明の請求項1の電話機能を有する携帯型電子機器を使用すれば、各地域の情報や言語を設定するだけで、それぞれの地域に対応した初期化が行われるので、各地域専用の電話機能を有する携帯型電子機器を生産する必要がなくなる。

【0034】

本発明の請求項2の電話機能を有する携帯型電子機器を使用すれば、ユーザーの使用する地域に対応した初期化が行われたシステムをユーザーの必要性にあった設定に編集することができ、また、第2記憶部にフラッシュROM11を用いることで電源をきってもその編集された内容が消去されない。

【0035】

本発明の請求項3の電話機能を有する携帯型電子機器を使用すれば、前記消去キーを押すなどの簡単な操作で、ユーザーによって編集された設定を消去することができる。

【0036】

本発明の請求項4の電話機能を有する携帯型電子機器を使用すれば、前記消去キーを押すなどの簡単な操作で、ユーザーによって編集された設定を消去するとともに最初に設定された初期データに基づいたシステムに再設定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1、2、3及び4の実施の形態で採用された電話機能を有する携帯型電子機器の外観図である。

【図2】図1の電話機能を有する携帯型電子機器のブロック構成図である。

【図3】本発明の第1の実施の形態におけるソフトウェアの初期化処理のフローチャートである。

【図4】本発明の第2、4のいずれかの実施の形態におけるソフトウェアの初期化処理のフローチャートである。

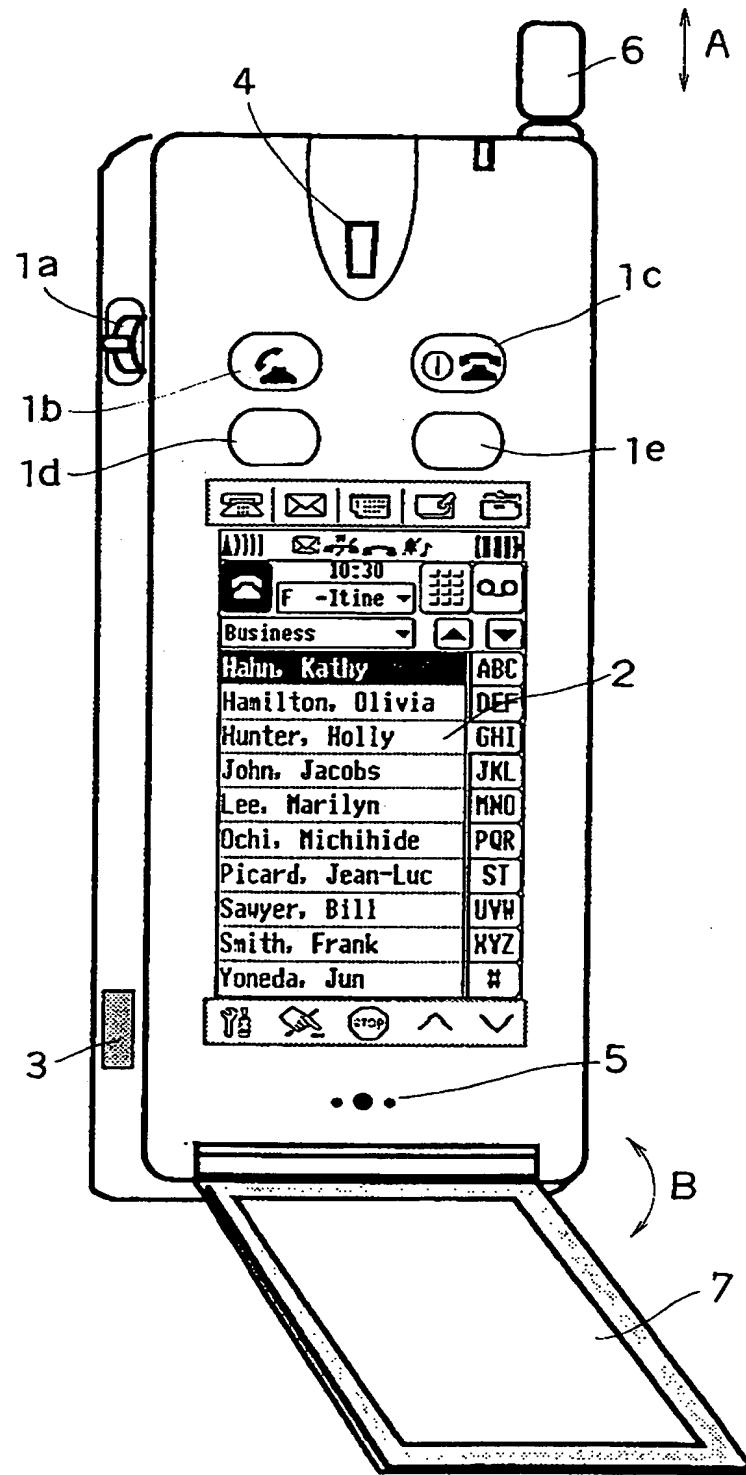
【図5】本発明の第3、4のいずれかの実施の形態におけるユーザーが編集した初期データを消去を行う処理のフローチャートである。

【符号の説明】

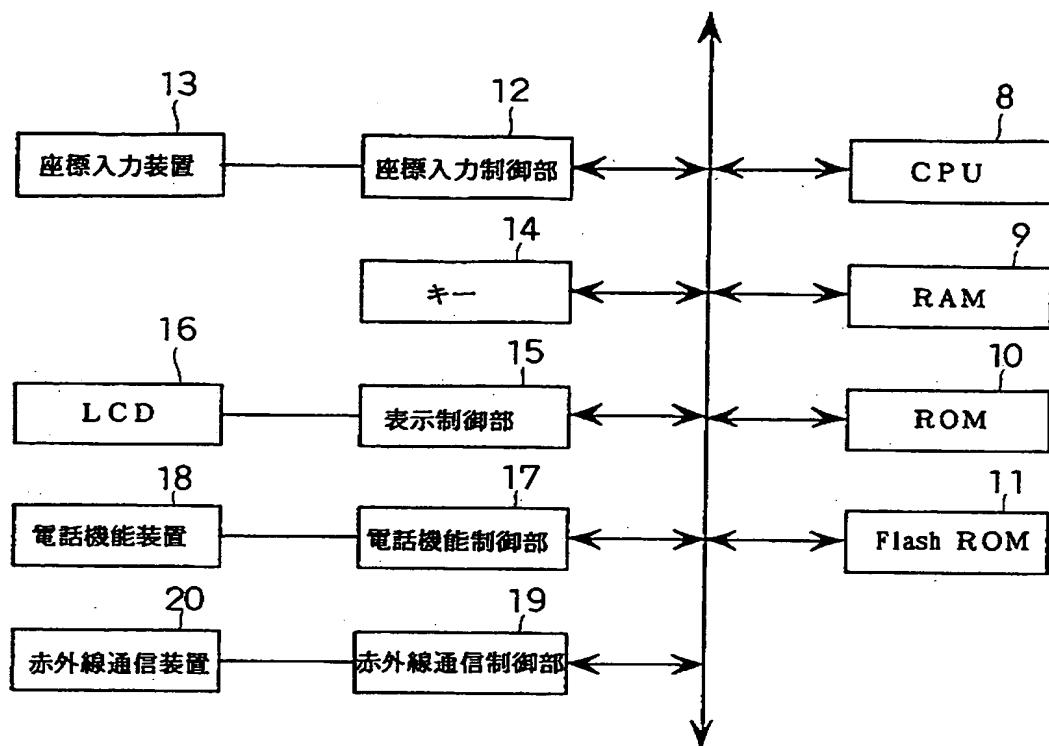
- 1 操作を行うためのキー
- 2 LCD及び座標入力装置
- 3 赤外線通信装置
- 4 スピーカー
- 5 マイク
- 6 アンテナ
- 7 蓋部
- 8 CPU
- 9 RAM
- 10 ROM
- 11 フラッシュROM
- 12 座標入力制御部
- 13 座標入力装置
- 14 操作を行うためのキー
- 15 表示制御部
- 16 LCD
- 17 電話機能制御部
- 18 電話機能装置
- 19 赤外線通信制御部
- 20 赤外線通信装置

【書類名】 図面

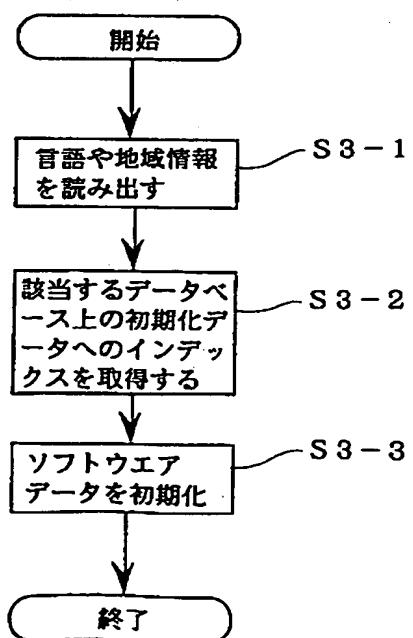
【図1】



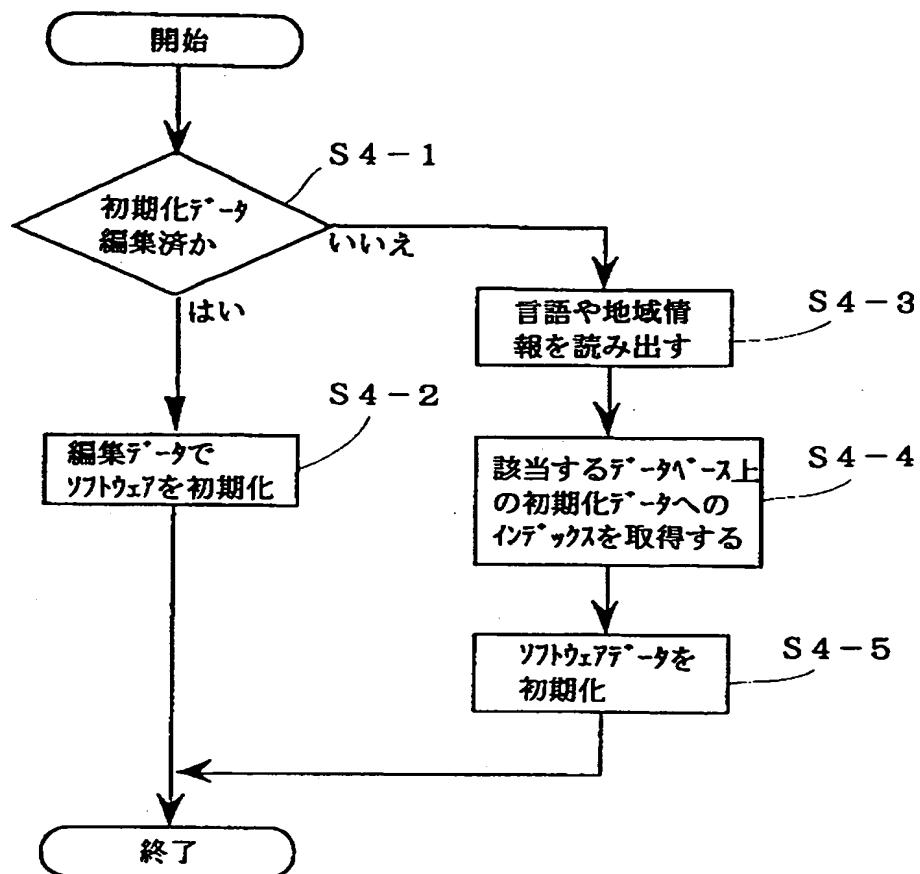
【図2】



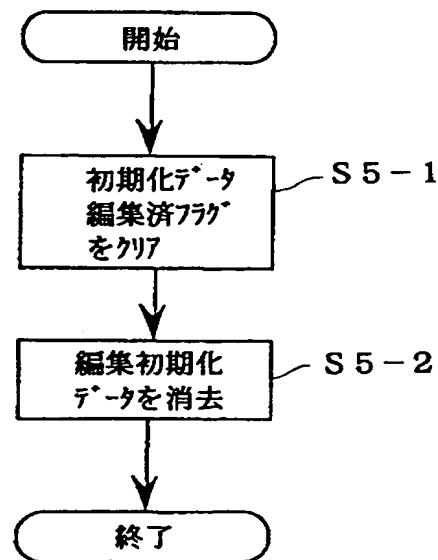
【図3】



【図4】



【図5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】多くの国や地域で、その国や地域に適したソフトウェアの初期化が電話機能を有する携帯型電子機器に行われることを目的とする。

【解決手段】設定する国や地域の情報を赤外線通信制御部19及び赤外線通信装置20を用いて受信し、フラッシュROM11に記憶する。前記フラッシュROM11に記憶した情報に応じた国や地域の初期データを、ROM10に格納された各国や各地域に対応した多種類の初期データで構成されたデータベース内より選択し、その初期データに基づいてソフトウェアの初期化を行う。

【選択図】 図2

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 000005049

【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

【氏名又は名称】 シャープ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100085501

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区天満橋京町2番6号 天満橋八
千代ビル別館 佐野特許事務所

【氏名又は名称】 佐野 静夫

出願人履歴情報

識別番号 [00005049]

1. 変更年月日 1990年 8月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号
氏 名 シャープ株式会社